

# 神奈川施保連ニュース VOL. 56



発行人 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会会長 岩本邦雄  
 編集 同上 広報部会 HP: <http://w01.tpl.jp/~a368318200/>  
 発行所 同上 事務局 〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14 岩本邦雄方  
 TEL & FAX 045-751-1010

## 全施連 第2回理事会報告 神奈川大会基本構想が承認される

「全施連・第10回全国大会 in 愛知」閉会後の午後1時から3時まで、全施連第2回理事會が開催されましたが、そこでの決定事項は次のとおりです。

### (1) 全施連副理事長の増員について

由岐理事長から「副理事長については2名増員を前提に、種々検討してきたが、さしあたって北海道道連会長の石川 誼氏を副理事長に選任し、残り1名については引き続き検討したい」という提案がありました。

### (2) 全施連・第11回全国大会 in 神奈川の基本構想について

神奈川施保連・理事会で意識統一を図った案にもとづき説明しましたが、これに関する意見交換のポイントは次の2点です。

① 講演について、講師によっては聞く側に混乱が生じるのではないかと、この疑義が出され、意見交換があったが、由岐理事長の「講師の選定については、神奈川施保連に承認された」という最終発言が

② 千葉知施連から「大会参加費および交流会費について、開催地の状況によっては従来開催地では運営が困難であり、開催県連で弾力的に設定することができないのか」という提起があり、由岐理事長の「金額については開催地の実情に応じて決めてもらって差し支えない」という発言が了承された。

### (3) 第3回理事会開催について

次により開催することが決定されました。

① 日時：平成27年2月9日（土）

② 場所：大阪ガーデンパレス

## 全施連全国大会 来年10月横浜市で開催！

神奈川施保連 会長 岩本邦雄

全施連第11回全国大会を平成27年10月20日（火）～21日（水）に神奈川県横浜市で開催することが今年の愛知大会で決まりました。

我々はこの神奈川大会が参

### 愛知大会感想

今回の愛知大会で最も印象深く、大会を盛り上げたのは全員参加型討論会でした。

従来の全員参加型討論会は、壇上で討論された内容について会場から質問、あるいは意見を述べるものであり、全員参加型とは言え限られた一部の人が発言することができませんでした。

今回はこれを改め、二日間、今更にはじめ定められずに自由にあらかじめ定められずにマにそってテーブルごとに討論するもので、参加者全員が意見を述べることでできました。

欲を言えばグループのメンバーにもっと家族が多ければ話題の共有化が図られ、更に良かったと思えました。

### 愛知大会に 写真係として参加して

杉山 昌明

愛知県連から神奈川施保連に依頼された全国大会の写真係として指名されたので、当日は役員打合せ時間の9時までに会場に入り、役員の全体打合せから出席しました。

二日間、スタッフの一員として、大会の初めから終わりまで会場内を撮影しながら、歩き回ったので、外側からではうかがい知ることが出来ないう大会の運営に関して、貴重な学ぶことの多い体験をする事が出来ました。

今回写真係として、学んだ事項を来年度の全施連全国大会 in 神奈川の企画運営に活かしたいと思っています。

「プロジェクト2015」を編成して、平成26年度から準備を開始しています。

引き続き、チームは第11回大会をこれからの10年間の第1回大会と考えて、必要と思える見直しを行い、先行きを見据えた素晴らしい大会にしていきます。

神奈川施保連のご家族や支援者の皆様のお力添えと積極的な参画をお願い申し上げます。

# 全国知的障害者施設家族会連合会 第10回全国大会in愛知 報告

11月21日(火)～22日(水)に第10回全国大会が愛知県豊橋市のロワジュールホテル豊橋で開催され、神奈川施設保連から20名が参加しました。

大会の内容に関しては全施連ニュースで報告されていますので、神奈川施設保連としては、参加された方々からの投稿を中心に届けたいと思います

## 全施連

### 10回大会に参加して

グループ討議など、新しい試みが持たれたが、大成功に終わったといえます。両教授の話は、簡潔であったが、全施連の進むべき方向を示唆しており、考えさせるところが多かった。古賀教授の、「措置から契約」に移行した時点から、社会福祉法人の使命が終わり、「株式会社化」を示唆していたという話は、初耳の人が多かったのではない



この大会を契機に、知的障害者に必要な本来の支援「一意疎通支援」の実現に

関係者一丸となって進んでいきたいものです。

### 愛知大会に参加して

①テーブルごとの全員参加型の討論会は今回が初めての試みであるが、参加者の置かれた状況や考えが聞けて良かった。神奈川大会も参考にしたい。

②鼎談についてはテーマと関係のない話もあり、出席者との事前の調整がとれていないのではないかとと思われる。

また、一人りの話す時間が長くキャッチボールができていなかった。

③来賓あいさつは、3名までにしたほうが良いのでは。また壇上に来賓が着席していたが、あれほどの人数を揃える必要があるのか疑問に思う。

④受付カード1枚で席の場所から宿泊まですべて処理できる仕組みは参考になる。

⑤音がこもりがちで聞きとりにくかった。

## 全施連

### 全国大会の感想

正直なところ、「全施連が高みに昇っちゃったな。これからどうするのだろう。」と感じました。

由岐会長がご挨拶や情勢報告で、特定機密法の成立等から「日本が戦争に向かう国に舵を切った。」との趣旨の発言は、個人

的な思いはともかく、全施連の全国大会での挨拶としては違和感がありました。

それから、鼎談で宗澤先生が「知的障害者施設を地域の生活を担保する中核と位置づけ取り組まなくてはならない。」

は我々一庶民にとつては重過ぎるテーマであり、腰が砕けそうでした。

理解することの重要性が、所詮世の中とは違う運用していく知恵が試

されています。政府の政策を、お前たちは間違って捨てるも、何

厚労省には粘り強く知的障害者の福祉の向上に具体的な提案を続けたいです。来賓各位のご挨拶も、今の制度、法律が根本的に間違っているのでは全施連と一緒に直していききたいとの発言は一つもありませんでした。

### 関東ブロックからの参加者

